|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ユースケース名 | | 物理ノードを追加する |
| 目的（ゴール） | | 新しい物理ノードをクラウド基盤に追加し、リソースとして利用可能にする |
| アクター | | クラウド管理者 |
| 開始条件（起動トリガー) | | クラウド管理者が新しい物理ノードの登録を要求する |
| 事前条件 | | 対象となる物理ノードがネットワークに接続されている  必要な初期設定が完了している |
| 事後条件 | | 物理ノードが管理基盤に登録され、使用可能な状態になる |
| 拡張点 | | ノード追加時に自動構成を実施 ハードウェア情報の自動収集 |
| 関連ユースケース | |  |
| イベントフロ｜ | メインフロー | クラウド管理者がノードの情報を入力  システムがノードの状態を検査  ノードがクラウド基盤に登録され、リソースとして利用可能になる |
| 代替フロー | 2a. 疎通確認に失敗した場合：  → エラーメッセージを表示し、登録処理を中断 | |
| 例外フロー | ノード情報の形式が不正な場合、入力エラーを表示し修正を促す  既に同一ホスト名またはIPのノードが存在する場合は重複エラーを表示 |
| 備考 | |  |